



琉球ソフトビジネス支援センター

RYUKYU SOFT BUSINESS SUPPORT CENTER

沖縄県内IT企業のオープンソースソフトウェアを活用した事業環境の創出をお手伝いいたします

<http://www.ryukyu-soft.jp>



センターの概要について

ビジネスモデルを“受託ベース”から“製品・サービスベース”へ

琉球ソフトビジネス支援センターは、未だ「受託ベース」の多い沖縄県内 IT 企業が、高収益と競争力強化を図る上で「自社製品・サービスベース」によるビジネスモデルへ転換する手段として、オープンソースソフトウェア（OSS）を活用した製品・サービスの創出を図る企業への支援策として沖縄県が実施した「おきなわソフト開発促進事業」で整備された環境の実運用を担い、沖縄県内 IT 企業のビジネスを支援するためのセンターです。

おきなわソフトウェア開発促進事業とは

県内 IT 企業の OSS をベースにした商材開発支援

低コストによる製品開発の有効手段として着目される OSS ですが、OSS を商材化する上で膨大なソフト数から有望商材として掘り起こすことは容易ではなく、また事業展開する上では独自ノウハウも必要であり、中小企業の多い沖縄の IT 企業が単独で実施するのは困難な状況です。こうした状況の改善を図るために、沖縄県では県内 IT 企業の共通問題を解決する支援施策として、「商材素材となる OSS の開発標準技法の確立及び支援システム環境の整備事業」を実施いたしました。これらは、商材の基となる OSS を継続して探索するためスクリーニング、マーケットニーズを探索するための市場調査の実施、探索した OSS の動作検証、品質評価、機能網羅性検証、ライセンス検証や、日本語へのローカライズや国際化作業までの、マニュアル及び、各工程で必要とするシステムを提供し、県内 IT 企業の OSS をベースにした商材開発支援を目的にしています。

琉球ソフトビジネス支援センターとは

商材開発支援を目的とした開発促進事業

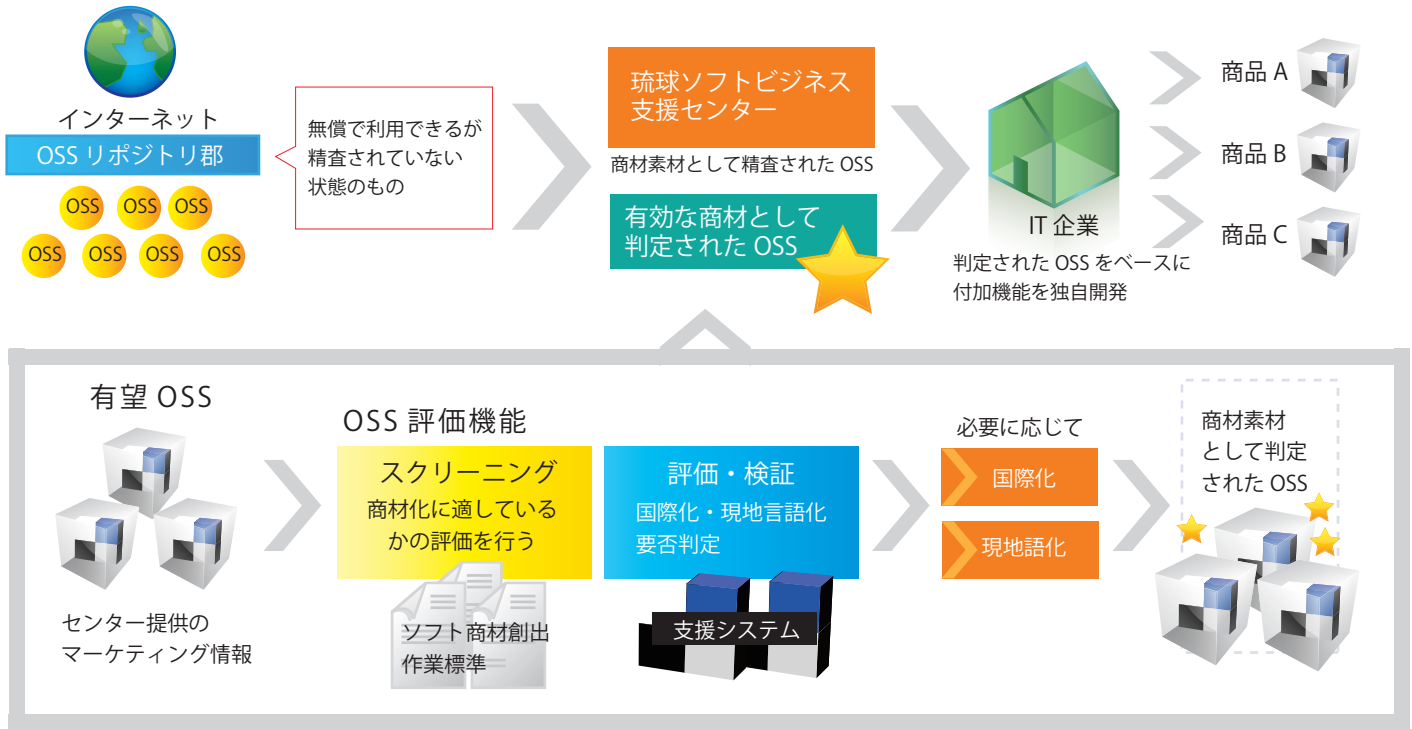
当センターは事業で整備した環境の実運用を担っております。事業で整備した、標準技法の提供に加えて、県内企業の製品プロモーション支援、企業が行う製品開発プロジェクトにおいて、次世代のエンジニアの育成の観点から、大学をはじめとする教育機関と連携をとり、インターンシップの橋渡しや、出前講座の実施による人材育成支援も行います。

沖縄はかつて“琉球”と呼ばれており、独立国家として存在していました。

大航海時代の琉球の先人たちは中国をはじめとするアジア各国との貿易を行うなど、グローバルな交流を積極的に行っていました。当センターは、県内 IT 企業が先人たちのマインドを継承し、本土や海外とのビジネスを積極的に展開していく中で、県内 IT 企業と、その取引先とのビジネスが双方にとって実り多いものになることを願っております。

琉球ソフトビジネス支援センター

RYUKYU SOFT BUSINESS SUPPORT CENTER



OSS 商材素材創出の流れ

01 マーケティング作業

商材は市場ニーズにマッチしていません。そこでまず、市場ニーズが高い注目すべきソフトウェア領域を見つけ出します（有望ソフトウェア分類の抽出）。本作業はセンターの担当者が年1～2回のタイミングで実施します。

03 有望OSS抽出

注目すべきソフトウェア領域には多数のOSSがありますので、次工程のスクリーニング作業の候補となるOSSを選びます。有望OSS抽出以降の作業は各企業の担当者・センター利用者が個別に実施します。

05 評価検証

OSSによっては動作や品質が不安定だったり、著作権に関する課題を有していたりすることがあります。そこで、品質や著作権に関する課題を評価します。

07 商材素材化可能性判定（総合判定）

スクリーニング、評価検証、国際化・現地語化要否判断の結果をもとに、総合的にOSSの商材可能性を判定します。

02 商品企画

センターが実施したマーケティング作業の結果と、自組織の得意分野・注目分野等を勘案して、注目すべきソフトウェア領域を決定します。本作業は各組織が個別に実施することになり、手法は組織によって異なると考えられます。

04 スクリーニング

評価候補OSSを対象として、そのOSSが商材として有望か否かのチェック（スクリーニング）を行います。

06 国際化・現地語化要否判定

海外で開発されているOSSは日本語には対応していませんが、日本語に対応させることで、独自機能の追加と同等の付加価値を与えることができます。そこで、国際化・現地語化（日本語化）の要否を判定します。

センターのサービスについて

- オープンソースソフトウェア商材化支援
OSS を利用してソフトウェア製品を開発する際に、対象の OSS 素材の品質等をあらかじめ定めた技術標準体系により総合評価を行って判定を行う支援システム環境を提供します。
- オープンソースソフトウェアの広報と販売支援
会員企業が開発した OSS ベース製品のプロモーション支援として、製品紹介サイト、製品デモサイトを提供します。
- オープンソースソフトウェア人材育成支援
会員企業の製品開発プロジェクトにおいて、次世代のエンジニアの育成の観点から、大学をはじめとする教育機関と連携をとり、インターンシップの橋渡しをするなどの人材育成を支援します。

入会フロー

琉球ソフト
ビジネスセンター



- 01 当サイトより、入会申し込み請求書をダウンロードします。
- 02 必要項目記入後、センター（事務局）へメールにて送付します。
- 03 当センター（事務局）より、入会審査結果がメールにて通知されます。
- 04 当センター運営委員会より、入会費、年会費の振込み依頼が送付されます。
- 05 当センターより、会員向け関連書式および利用マニュアル等一式を郵送をもって会員登録を完了します。



入会希望者

会員区分	属性	入会金	年会費
賛助会員	本センターの目的に賛同する沖縄県内に所在地を持った情報通信関連企業、基幹業務に情報通信技術を利用している企業、若しくは個人等で、運営委員会の承認を得た者を賛助会員とします。	10万円	10万円
特別会員	本センターの活動と密接に関係のある、大学等の教育研究機関、経済団体等の機関・団体および学識経験者等の個人のうち、運営委員会が特に必要と認めた者とします。	無し	無し

入会に関する問い合わせは下記までお願いします。

センター情報

組織名：(社) 沖縄県情報産業協会 琉球ソフトビジネス支援センター

所在地：〒904-2234 沖縄県うるま市州崎 14-17 沖縄 I 津梁パーク 中核機能支援施設 211 号室

問い合わせ先：TEL：(098)979-7474 FAX：(098)979-7475

URL：http://www.ryukyu-soft.jp

Mail：info@ryukyu-soft.jp